



【2026年始のご挨拶-脳科学の力を社会と政策へ-】岡野 栄之（日本脳科学関連学会連合代表）

皆様、明けましておめでとうございます。

2026年の新春にあたり、日頃より日本脳科学関連学会連合の活動にご理解とご支援を賜っておりますことに、心より御礼申し上げます。

21世紀も四半世紀を迎え、我が国は人口減少・超高齢社会の進行、医療・福祉費の増大、科学技術力の国際的競争の激化といった、構造的かつ長期的な課題に直面しています。加えて、国際社会においては地政学的緊張の高まりや気候変動に伴う自然災害の頻発など、不確実性が一層増しています。このような時代において、脳と心の健康を守ることは、医療の枠を超え、日本国民だけではなく、人類全体の生活の質、労働生産性、社会の持続可能性を左右する基盤的課題であると私たちは考えています。

日本脳科学関連学会連合は、我が国の脳科学分野における基礎・臨床研究者を代表し、脳科学研究の発展とその成果の社会実装を通じて、国民の健康と福祉に貢献することを使命として設立されました。現在、32の学会と23の企業を中心とする連携法人会員から構成される学会横断的な連合体として、学術的知見を結集し、科学的根拠に基づく提言を社会および政策決定の場に届ける役割を担っています。

近年、脳科学研究は着実に社会的成果を生み始めています。私自身の専門に近いところでは、アルツハイマー病に対する抗アミロイドβ抗体医薬レカネマブの承認は、長年の基礎研究の蓄積が疾患修飾治療という形で結実した重要な成果です。また、外傷性脳損傷後の慢性期運動麻痺を対象とした再生医療等製品「アクーゴ」の条件・期限付き承認、さらにはiPS細胞由来ドーパミン神経前駆細胞を用いたパーキンソン病治療の医師主導治験の進展など、日本発の脳科学研究が世界を先導する事例が生まれています。

これらの成果は、個別の研究努力のみならず、基礎から臨床、産業、規制へとつながる研究開発エコシステムが機能し始めていることを示しています。一方で、脳科学研究の社会実装をさらに加速するためには、長期的視点に立った研究投資、学会横断的・分野融合的研究の推進、人材育成の強化、ならびに規制・制度面での柔軟かつ科学的な対応が不可欠です。

日本脳科学関連学会連合は、基礎と臨床のアカデミア、そして産業界が連携する我が国でも稀有な枠組みを有しています。この強みを生かし、脳科学研究の重要性を社会にわかりやすく発信するとともに、科学的知見に裏付けられた政策提言を積極的に行い、国の科学技術政策、医療政策、健康政策に貢献していくことが、私たちの重要な責務であると考えています。

2026年が、脳科学の知を社会と政策につなぎ、国民一人ひとりの生活の質の向上と、持続可能な社会の実現に向けた新たな一歩となることを願い、年頭のご挨拶とさせていただきます。

【第31回リレーエッセイ】日本臨床精神神経薬理学会理事長 古郡 規雄

脳科学と臨床の架け橋として：4学会合同年会 (BCNP) の試み

日本アルコール・アディクション医学会理事長の神田秀幸先生よりご指名をいただき、このリレーエッセイのバトンを受け取りました。臨床精神神経薬理学会の理事長を務めております古郡規雄と申します。

臨床精神神経薬理学会は、向精神薬の適正使用や薬物療法のエビデンス構築、そしてトランスレーショナルリサーチの推進を目的として活動しております。今回は、私たちの学会活動の中でも特に大きなイベントである年次大会について触れさせていただきたいと思っております。

本年度の年次大会は、非常に特別な形式で開催されます。「第48回日本生物学的精神医学会年会 (B)、第36回日本臨床精神神経薬理学会年会 (C)、第56回日本神経精神薬理学会年会 (N)、第10回日本精神薬学会年会 (P)」の4学会が合同で行う、いわゆる「BCNP」としての開催です。例年、臨床精神神経薬理学会は、基礎研究を主体とする日本神経精神薬理学会 (NP) と合同年会を開催しており、基礎と臨床の対話を重視してきました。しかし今回は、そこにさらに広がりを持たせ、4つの学会が手を携えるという画期的な試みとなりました。

<https://www.aeplan.jp/bcnp2026/index.html>

BCNPとしての4学会合同開催は今年だけの特別な試みではありますが、基礎から臨床、そして薬剤師の先生方までを含む多職種・多領域が一堂に会し、熱い議論を交わすことは、脳科学研究と精神科医療の発展において極めて意義深い経験となります。

今後も、脳科学の知見を実際の臨床現場へ還元し、患者さんの回復に寄与できるよう、関連学会との連携を深めてまいる所存です。脳科連の皆様におかれましても、引き続きご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

次のリレーエッセイは日本脳科学会理事長 松崎 秀夫先生にバトンタッチされます。

【第34回評議員会のお知らせ】

日時:2026年3月14日(土)13:00~15:00

場所:TKP品川カンファレンスルーム9A

(去年とは会場が違いますのでご注意ください)

東京都港区高輪3-25-23京急第2ビル6~7階・9~10階(事務所:9階)

<https://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/cc-shinagawa-shinkan/access/>

議題:代表からの報告、各委員からの報告他

議決事項:2025年度事業報告、決算及び会計監査報告、2026年度事業計画、予算報告他

※評議員会終了後(15:00~)、簡単な懇親会を開催いたします。

メールで配信される開催案内に沿って出欠をお知らせくださるようお願いいたします。

【一般社団法人 応用脳科学コンソーシアム「テクニカルコース」のお知らせ】

応用脳科学コンソーシアムでは2月に「テクニカルコース」講義が開催されます。

募集詳細は下記Webページをご参照ください。

https://www.can-neuro.org/fy2025technical_20250109/

【事務局だより(主に会員学会事務局向け)】

- ・評議員の変更がございましたら、事務局までご連絡をお願いいたします。
 - ・メールマガジン内容へのご意見やお問い合わせは、貴学会の事務局経由でお願いします。
-
-